

本規則は、野球規則を前提に、全日本女子野球連盟の大会規則及び全日本女子野球連盟内規に基づき、今大会において留意すべき点となります。全日本女子野球連盟の大会規定及び内規の熟読をお願いします。

【1】大会運営に関する規定

- 1 公式試合球は、ミズノ社製を使用する。
- 2 審判員は、3回戦まで2人制、準々決勝以降は4人制とし、大会審判部が担当する。
- 3 試合の7回を終了した時点で同点の場合、タイブレークを適用する。ただし、準決勝、決勝戦は9回まで延長し、なお同点の場合、タイブレークを適用する。（タイブレークは、ノーアウト1・2塁から継続打順で開始する。）
- 4 雨天等で試合成立前に試合継続が困難となった場合、継続試合とし、原則として翌日の第一試合に組み込む。
- 5 5回終了以降で、7点差以上の得点差がある場合、コールドゲームを適用する。
- 6 準決勝・決勝戦はコールドゲームを適用しない。

【2】競技運営に関する規定

- 1 メンバー表の交換は、第一試合の開始予定時刻40分前、第二試合以降は、3回裏終了後直ちに大会本部に提出する。
- 2 先攻・後攻の決定はメンバー表交換時に両チームの監督（監督の都合が悪い時は、責任教師またはコーチ）及び主将が出席し、審判員立ち会いのもと、ジャンケンで決定する。
- 3 高校の全国大会の背番号は1番から99番とする。
- 4 監督、コーチは背番号を付けること。
- 5 選手の交代を審判員に告げるのは、監督が行う。
- 6 監督、コーチ（伝令を含む）はタイムをとってマウンドに行くことができる。
- 7 ベースコーチは、試合登録された監督、コーチまたは選手が行う。（学生野球の観点から、できるだけ選手に出場機会を与えることが望ましい。）
- 8 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが生じ、一時、走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断した時は、相手チームに事情を説明し、臨時代走を許可することができる。
- 9 次打者は速やかにネクストバッターズサークルで待機する。その際の姿勢は自由とする。
- 10 次打者以外はベンチ内で待機する。ただし、素振りやキャッチボールを命じられた選手は指定場所で行うことができる。（各会場周囲の安全を確認しブルペンで行う。）
- 11 ベンチ前でのキャッチボールは禁止する。
- 12 投手の準備投球は5球以内、または3アウト後、90秒が経過して「ワンモアピッチ」とする。
- 13 次試合チームのブルペン使用は、試合中のチームが使用している場合を除いて、4回以降の使用を許可する。
- 14 申告敬遠を採用する。
- 15 給水のため要求したタイムはカウントしない。
- 16 出場選手が、太陽光線による危険防止や目の病気などの身体的理由のためサングラスを使用する可能性のある場合、試合前(メンバー表交換時)に主催者・審判員に申し出て許可を得たものの使用を認める。ただし、著しくレンズが反射するサングラスの使用は認めない。また、サングラスを目に着用せず、帽子にのせるなどの行為は危険を伴うため一切認めない。



- 17 試合前のノック中に審判員が両チームの用具点検を行う。
- 18 試合開始の目安として、試合終了後、40分後に試合開始予定とする。外野でのウォーミングアップなどキャッチボール15分、両チームノック7分×2、整備10分です。
(ただし、試合時間が延長している場合は、大会本部・両チーム・審判で協議し試合開始を早めることがあります。予めご了承ください。)
- 19 メンバー表が複写となっているので、強めの筆圧で記入してください。
- 20 ロジンは各チームで用意してください。